

令和7年度支援プログラム 振り返り SORA

令和 8 年 2 月 1 日

事業所理念	SORAは様々な遊びを通じて、楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00~17:30 第2単位 9:00~17:00
支援方針	①散歩や運動を通して体力をつける。 ②集団活動に参加し、約束を守って行動する。 ③様々な活動を通して興味の幅を広げる。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握 健康の増進	手洗いやうがい、外出前の水分補給が習慣づくよう来所後に一連の流れをつくったり、職員が付添い必要に応じて声かけを繰り返したりした。
	生活リズムや生活習慣の形成	リハビリテーションの実施	イベントでの外食で様々なメニューを見せたり、おやつ作りを経験することで食べることへの興味関心の幅を広げることができた。
	基本的な生活スキルの獲得	基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える	散歩やウォーキングの際、階段の上り下りや景色の良い場所等ルートや目的地を決めることで長い距離を歩けるようになった。 服の着脱後にたたむことができるよう、体育館活動等の着替えの際職員が付添い声かけや手を添えながら一緒にいった。
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	外出活動や体育館活動でダンス、ハードル、ボール蹴り、縄跳び等の様々な体を動かす運動を取り入れ積み重ねることで走る、蹴る、跳ぶなどの動きが上達してきた。
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用	正しい姿勢で座る、歩く、食べることができるよう背筋を伸ばす、前を見て歩く等その都度声をかけたり、職員が手本を見せたりすることで姿勢の保持や運動動作の向上につながった。
	保有する感覚の総合的な活用	感覚の補助および代行手段の活用 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	
認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚や認知の活用 知覚から行動への認知過程の発達	形、色、物の大小がわかるよう塗り絵をしたり、模様を紙コップを使って描いたり、ちぎり絵をしたりなど様々な製作体験を取り入れた。
	空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得	おまごことやパズル、ミニバスケットボールなど様々な玩具を提供したことで、遊びの幅を広げてきた。
	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応	散歩時に列に並んで歩く時間を設けたり、前との間隔を空けず詰めて歩くことができるよう事前に約束したりすることで場所に応じた歩き方ができるようになった。
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	言語の形成と活用	「おはようございます」「さようなら」等場面に応じた挨拶ができるように職員と練習を行うことで、その場面ごとの挨拶をすることができるようになってきている。また、あいさつの際にはおじぎもできるようになった。 イベントの振り返りポスターを作るため文字を書いたり、おやつを受け渡しやトイレに行きたい等を指差しやハンドサイン、ジェスチャーを用いられるようになった。
	言語の受容及び表出	受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	
	コミュニケーションの基礎的能力の向上	指差し、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援	
	コミュニケーション手段の選択と活用	コミュニケーション機器の活用	
人間関係・社会性	他者との関わり(人間関係)の形成	アタッチメント(愛着行動)の形成 模倣行動の支援	様々な活動で、列に並び、順番を待つ、守ることを伝えることで集団で歩く際列に並んで歩く、名前を呼ばれるまで座って待つなどルールを身につけることができるようになってきた。
	自己理解と行動の調整	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから協同遊びへの支援	リレーで自分から次の走者へタッチして仲間に繋いだり、玉入れてでチーム対抗戦を体験したりすることで仲間意識や集団意識が高まった。他者を誘ったり、他者と物の貸し借りができたり、他者と関わるようになってきた。
	仲間づくりと集団への参加	自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援	
家族支援	ご家族のニーズを受け、家族(きょうだい)の困りごとを相談する場を設けたり、関係機関に繋いだりする等の支援を行った。		
職員の質の向上に資する取組	事業所の提供する支援の質を確保するため、年間計画に基づく事業所内研修の実施や、外部研修への派遣を行い、職員の質の向上を図った。		
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	移行支援	別紙①参照

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。